

学 術 講 演

○印講演発表者

講 演 者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○ 藤 本 誠 也 市 原 和 彦 櫻 本 逸 男 大 木 順 司	FEM を用いて頸部外傷症候群メカニズムを解明するための脳～脊髄の力学特性計測	第 29 回日本整形外科学会 基礎学術集会	2014. 10. 10
○ 瀬 島 史 也 市 原 和 彦 櫻 本 逸 男 大 木 順 司 福 本 哲 己	脊髄の老化が頸髄症の発症に関与している	第 29 回日本整形外科学会 基礎学術集会	2014. 10. 10
○ 西 田 周 泰 寒 竹 司 大 木 順 司 陳 献 男 櫻 本 逸 男	頸髄随節の灰白質と白質の形態が応力に及ぼす影響	第 41 回日本臨床バイオメ カニクス学会	2014. 11. 22
○ 市 原 和 彦 櫻 本 逸 男 大 木 順 司 福 本 哲 己	高齢者頸髄症の発症には加齢で生じる脊髄力学特性変化が関与する	第 41 回日本臨床バイオメ カニクス学会	2014. 11. 21
○ 大 木 順 司 水 津 優 市 原 和 彦 菅 田 義 隆 陳 献 男 櫻 本 逸 男	脊髄神経根の衝撃強度に及ぼす負荷方向および負荷速度の影響	第 41 回日本臨床バイオメ カニクス学会	2014. 11. 21
○ 中 村 大 悟 市 原 和 彦 大 木 順 司 陳 献 男 櫻 本 逸 男	FEM シミュレーションによる脊髄円錐症候群発症メカニズムの解明	第 27 回日本機械学会バイ オエンジニアリング講演 会	2015. 1. 9
○ 富 山 周 佑、 市 原 和 彦、 大 木 順 司、 陳 献 男、 櫻 本 逸 男	脊髄の三次元有限要素モデルの構築と脊髄—神経根分岐部の応力解析	第 27 回日本機械学会バイ オエンジニアリング講演 会	2015. 1. 9
○ 御手洗 真人 福 田 明	CMP におけるウェーハ・研磨パッド間スラリー流れの可視化	精密工学会 秋季大会学術 講演会	2014. 9. 17
○ Akira Fukuda, Masahito Mitarai	Visualization of Slurry Flow in Polishing Pad Asperity Area	International Conference on Planarization/CMP Technology 2014	2014. 11. 19

講 演 者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○ 福 田 明	ウェーハ・研磨パッド間アスペリティ領域におけるスラリー流れの可視化	精密工学会 プラナリゼーション CMP とその応用技術専門委員会 第 138 回研究会	2014. 12. 12
○ 福 田 明 御手洗 真人	CMP におけるミクロスケール・スラリー流れ可視化の試み	日本機械学会 関東支部 第 21 期総会講演会	2015. 3. 20
○ Atsuyuki SUZUKI Kosaku HAYASHIDA Jiromaru TSUJINO	Development of Impact-reduction System Using Ultrasonic Melting	The 35 th Symposium on Ultrasonic Electronics	2014. 12. 5
○ Atsuyuki SUZUKI Kai KIMURA Jiromaru TSUJINO	Deformation and impact characteristics by applying ultrasonic vibrations to a carbon fiber-reinforced polymer plate	International Congress on Ultrasonics	2015. 5. 12
Makoto SAKAMOTO Makoto NAGATOMO ○ Hikaru SUSAKI Tuo ZHANG Satoshi IKEDA Hiroshi FURUTANI Takao ITO Yasuo UCHIDA Tsunehiro YOSHINAGA	Some properties of k -neighborhood template A -type two-dimensional bounded cellular acceptors	The International Conference on Artificial Life and Robotics 2015 (ICAROB 2015)	2015.01.12
Makoto NAGATOMO ○ Makoto SAKAMOTO Hikaru SUSAKI Tuo ZHANG Satoshi IKEDA Hiroshi FURUTANI Takao ITO Yasuo UCHIDA Tsunehiro YOSHINAGA	Sufficient spaces for seven-way four-dimensional Turing machines to simulate four-dimensional one-marker automata	The International Conference on Artificial Life and Robotics 2015 (ICAROB 2015)	2015.01.12
○ 奥 本 幸, 一 色 誠 子, 高 橋 愛, 鳥 居 恵 子, 中 川 明 子, 長 廣 恭 子, 山 本 孝 子	ものづくりと思考力育成をめざした「考作」セミナーの実施	日本教育工学会 研究会 14-5	2014. 12. 13
○ Yasuhiro Takayama Yoichi Tomiura Kenneth R. Fleischmann An-Shou Cheng Douglas W. Oard Emi Ishita	An Automatic Dictionary Extraction and Annotation Method Using Simulated Annealing for Detecting Human Values	6th International Conference on E-Service and Knowledge Management in 4th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI ESKM 2015)	2015. 7. 12

講 演 者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○ Emi Ishita Douglas W. Oard Kenneth R. Fleischmann Yoichi Tomiura Yasuhiro Takayama An-Shou Cheng	Learning curves for automating content analysis: How much human annotation is needed?	6th International Conference on E-Service and Knowledge Management in 4th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI ESKM 2015)	2015. 7. 12
○ Kenneth R. Fleischmann Yasuhiro Takayama An-Shou Cheng Yoichi Tomiura Douglas W. Oard Emi Ishita	Thematic Analysis of Words that Invoke Values in the Net Neutrality Debate	iConference 2015	2015. 3. 25
○ Yasuhiro Takayama Yoichi Tomiura Emi Ishita Douglas W. Oard Kenneth R. Fleischmann An-Shou Cheng	A Word-Scale Probabilistic Latent Variable Model for Detecting Human Values	The 23rd ACM International Conference on Information and Knowledge Management (ACM CIKM 2014)	2014. 11. 6
○ 力 規 晃 越 村 三 幸 藤 田 博 長谷川 隆 三	MaxSAT ソルバを用いた帰納論理プログラミング	人工知能学会 第 97 回人工知能基本問題研究会	2015. 3. 23
○ N. Chikara M. Koshimura H. Fujita R. Hasegawa	Inductive Logic Programming Using a MaxSAT Solver	The 25th International Conference on Inductive Logic Programming (ILP2015)	2015. 8. 21
○ 原 隆	支持カラムが不同沈下する R/C 冷却塔の耐荷力分析	2014 年日本建築学会大会 学術講演梗概集 (近畿)	2014. 9. 12
○ 藤 本 泰 徳 白 石 哲 志 上 俊 二 福 田 靖 桑 嶋 啓 治	豪雨および特殊土壌に対応した法面保護フィルターの開発	平成 27 年度地盤工学会 中国支部地盤工学セミナー報告会	2015. 7. 10
田 村 伊 幸 ○ 桑 嶋 啓 治 上 俊 二 福 田 靖	再生石膏を用いた地盤改良による芝の植生について	平成 27 年度地盤工学会 中国支部地盤工学セミナー報告会	2015. 7. 10
○ 桑 嶋 啓 治 上 俊 二 福 田 靖	破碎性地盤における杭の貫入量に着目した支持力特性	第 50 回地盤工学研究発表会	2015. 9. 1

講 演 者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○ 福 田 靖 上 俊 二 桑 嶋 啓 治 阿 野 憲 一 中 堀 陽 平	マグネシウム系固化材による改良土の力学特性 に及ぼす温度の影響	第 50 回地盤工学研究発表 会	2015. 9. 1
○ 上 俊 二 桑 嶋 啓 治 福 田 靖 大 内 光 徳	超音波による細粒土の減容化特性に関する研究	第 50 回地盤工学研究発表 会	2015. 9. 2
○ 桑 嶋 啓 治 佐 野 博 昭 小 竹 望 稲 積 真 哉 上 俊 二	廃石膏を用いた芝の植生	第 20 回高専シンポジウム in 函館	2015. 1. 10
○ 桑 嶋 啓 治 上 俊 二 福 田 靖	再生石膏を用いた地盤改良による芝の植生につ いて	2015NEW環境展	2015. 5. 26
○ 末 長 航 也 福 田 靖 上 俊 二 桑 嶋 啓 治 岡 田 克 己 三 原 俊 彦 阿 野 憲 一 中 堀 陽 平	マグネシウム系固化材と結合材を用いた土系舗 装について	日本高専学会第 21 回年会	2015. 8. 29
○ 橋 本 堅 一 阿 野 憲 一	海水マグネシウム固化材コンクリートおよびモ ルタルブロックの利用に関する検討	第 64 期材料学会学術講演 会	2015. 5. 23
○ 橋 本 堅 一	モードⅢき裂変形様式の応力拡大係数の適用に 関する検討	平成 27 年度土木学会中国 支部研究発表会	2015. 5. 23
○ 中 谷 俊 晴 田 村 隆 弘	実構造物を対象とした温度応力解析による初期 ひび割れに関する解析的研究	(第 67 回) 土木学会中国 支部研究発表会	2015. 5. 23
○ 山 門 健 人 中 谷 俊 晴 田 村 隆 弘	コンクリート実構造物における収縮ひび割れの 解析的研究	第 21 回日本高専学会年会	2015. 8. 29
○ 小 島 風 太 田 村 隆 弘	コンクリート構造物の乾燥収縮ひび割れに関す る研究	第 21 回日本高専学会年会	2015. 8. 29
○ 浅 田 純 輝 田 村 隆 弘	早強ポルトランドセメントを用いた透水性ポー ラスコンクリート舗装についての研究	第 21 回日本高専学会年会	2015. 8. 29
○ 田 村 隆 弘 仙 石 克 洋	山口県のコンクリート構造物品質確保の高度化 に関する研究	平成 27 年度官学共同研 究 成果報告	2015. 9. 3

講演者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○ 田 村 隆 弘	復興道路とコンクリートの品質確保	山口県技術講習会（第9回）	2015. 9. 14
○ 田 村 隆 弘	地方におけるシビルNPO	土木学会全国大会研究討論会	2015. 9. 16
○ 熊 野 稔	防災性能化された「道の駅」の類型と方向性について	26 年度 日本建築学会大会研究発表	2014. 9. 12
○ 熊 野 稔	周南市の公共施設再配置における民間活用によるサステナビリティ	周南市市民セミナー	2014. 11. 9
○ 熊 野 稔	暮らしと住まいの健康講習	山口県健康省エネ推進協議会	2014. 11. 1
○ 熊 野 稔	山口県の戦災復興と都市計画史について	山口県県史編纂委員会 山口県県史編纂室	2014. 12. 6
○ 熊 野 稔	都市の技術戦略論；コンパクトシティ政策と低炭素まちづくり戦略について	広島大学大学院工学研究院	2014. 12. 2
○ 熊 野 稔	地方創生の技術戦略論；道の駅と地域振興について	広島大学大学院工学研究院	2014. 12. 16
○ 熊 野 稔	2015 まちむら廃校活用セミナーin 京都・綾部 全国事例から学ぶ廃校活用のポイント整理	まちむら廃校活用セミナー都市農山村漁村交流機構	2015. 2. 14
○ 西 俣 颯 斗 熊 野 稔 平 岡 透	「学校まちづくり」における高校生レストランの動向と効果、方向性に関する研究 その1 三重県立相可高校を事例として（経緯と仕組み、地域づくりの効果等）	26 年度 日本建築学会中国支部研究報告会	2015. 3. 8
○ 熊 野 稔 西 俣 颯 斗 平 岡 透	「学校まちづくり」における高校生レストランの動向と効果、方向性に関する研究 その2 三重県立相可高校の調理部生徒へのアンケート調査による自己評価	26 年度 日本建築学会中国支部研究報告会	2015. 3. 8
○ 鷺 永 司 熊 野 稔 平 岡 透	コンパクトシティを目指す地方都市の動向と評価に関する研究 富山市と青森市を事例として	26 年度 日本建築学会中国支部研究報告会	2015. 3. 8
○ 熊 野 稔 鷺 永 司 平 岡 透	低炭素まちづくり計画策定都市の動向と自治体評価及び方向性に関する研究	26 年度 日本建築学会中国支部研究報告会	2015. 3. 8
目 山 直 樹 ○ 後 藤 晃 徳 伊 藤 将 司	「防府市勝間・牟礼・西浦地域での防災教育を通じた防災意識の変化、学校・家庭・地域社会と連携した防災教育プログラムの実践と評価 その2」	土木学会第69回年次学術講演会	2014. 9. 12

講 演 者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○ 目 山 直 樹 原 隆 上 俊 二 佐 賀 孝 徳 橋 本 堅 一 渡 邊 勝 利 中 川 明 子 海 田 辰 将	「徳山高専と山口県教育庁の連携による防災出前授業の2013年度実施報告」	土木学会第69回年次学術講演会	2014. 9. 12
○ 目 山 直 樹 村 田 将 仁 後 藤 晃 徳 橋 本 堅 一	通年型・連続型の防災教育と避難訓練による久保中学校2年生の防災意識の変化	自然災害研究協議会中国地区部会 研究発表会	2015. 3. 21
○ 目 山 直 樹 原 田 幸 蔵 福 田 桂 大	「学校運営協議会を活用した通学路安全対策の検討組織の試行と今後の課題」	土木学会中国支部研究発表会	2015. 5. 23
○ 目 山 直 樹 村 田 将 仁 重 政 徹 哉 坂 本 修 河 村 志 朗	「久保中学校防災教育コンソーシアム2014の活動」	土木学会, 第7回土木と学校教育フォーラム【ポスター発表】	2015. 8. 30
目 山 直 樹 ○ 加 納 志織里 後 藤 晃 徳	「学校と地域社会をつなぐ防災教育の実践と評価」	土木学会, 第7回土木と学校教育フォーラム【ポスター発表】	2015. 8. 30
目 山 直 樹 ○ 原 田 真 緒 原 田 幸 蔵 福 田 桂 大	「歩行児童・自転車通学生徒双方への交通安全教育による通学路安全対策の試み」	土木学会, 第7回土木と学校教育フォーラム【ポスター発表】	2015. 8. 30
○ 目 山 直 樹 浅 野 純一郎 熊 野 稔	安全・安心に着目した未着手都市計画道路の見直し評価項目の検討, 周南市都市計画道路(廃止検討路線)によるケーススタディ	日本建築学会大会学術講演会, 都市計画部門オーガナイズドセッション, 選抜梗概	2015. 9. 4
○ 中 川 明 子 八 島 巧 舎	岩国市周東町鮎原神社の穹崇橋に関する研究	第35回土木史研究発表会	2015. 6. 20
○ 大 橋 正 夫	Preparation of Layer Structured Crystal $\text{Rb}_{1-x}\text{Ti}_{1-x}\text{Nb}_{1+x}\text{O}_5 (0 \leq x \leq 0.20)$ and Hydrogen Ion Exchange Products	日本化学会第95春季年会	2015. 3. 26
○ Ai Takahashi	Is Billy a Peace-maker?: Gender Confusion in <i>Billy Budd, Sailor</i>	The 10th International Melville Conference	2015. 6. 27
○ 高 橋 愛	多読授業の成果と課題——高専低学年の学生への実践から	日本多読学会年会	2015. 8. 2

分 担 執 筆

執 筆 者	書名および章題・題目・頁	発 行 所	発行年月日
原 隆 外 8 名	コンクリートシェルの構造設計に関する動向と将来展望・第 4 章コンクリートシェルの構造設計基準・指針について (pp31-40)	日本建築学会	2014. 10. 6
熊 野 稔 その他教育普及小委員会	建築法規用教材 2015	日本建築学会	2015. 2. 15
熊 野 稔	健康長寿検定テキスト 住宅編 PP25～32	一般社団法人 健康・省エネ住宅を推進する国民会議	2014. 2. 15
熊 野 稔 その他建築学会農村計画委員会・調査報告委員会委員	東日本大震災 8 学会合同調査報告 建築編9 建築社会システムと震災/集落計画 3 集落の被害と再建 3.4 集落ネットワーク及び後方支援拠点の役割 (3)「道の駅」の被災と支援、防災機能強化の方向性	日本建築学会	2015. 9

特 許

考案者名	名 称	公示番号
鈴 木 厚 行	衝撃軽減装置	特許第 5757616 号